

# 令和2年度 第2回 新潟市歴史博物館運営協議会

日時：令和3年3月5日(金) 午後2時30分～  
会場：新潟市歴史博物館本館セミナー室

## 次 第

- 1 開会
- 2 館長あいさつ
- 3 議事
  - (1) 令和2年度の館運営状況について
    - ① 歴史博物館
      - 1) 事業報告
      - 2) 来館者数の動向
    - ② 旧小澤家住宅
      - 1) 事業報告
      - 2) 来館者数の動向
  - (2) 来年度事業について
    - ① 歴史博物館
      - 1) 事業計画
    - ② 旧小澤家住宅
      - 1) 事業計画
  - (3) その他
- 4 閉会

新潟市歴史博物館運営協議会  
(R1～R2年度) 委員名簿

(令和3年2月19日現在)

	氏名	所属・推薦団体等
1	池田 哲夫	【会長】新潟大学人文学部名誉教授
2	石田 克弥	日本旅行業協会 新潟県地区委員長
3	上村 啓	BSN新潟放送 事業局次長 兼 事業部長
4	久保 有朋	古町花街の会
5	坂井 孝	新潟市立南浜中学校長
6	佐藤 忠浩	新潟日報社 読者局 事業担当部長
7	渋川 綾子	にいがた湊あねさま倶楽部
8	津野 治彦	新潟市立亀田小学校長
9	橋本 博文	新潟大学人文学部名誉教授
10	羽生 頼子	公募委員
11	本井 晴信	【副会長】元新潟県立文書館副館長
12	和氣 彰	新潟市小中学校PTA連合会 副会長

(50音順)

オブザーバー	遠藤 和典	歴史文化課長
--------	-------	--------

## 新潟市歴史博物館運営協議会設置要綱

### (設置)

第1条 館長は、新潟市歴史博物館（以下「博物館」という。）の運営について意見を聴くため、新潟市歴史博物館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

### (委員)

第2条 協議会の委員は次に挙げるもので構成する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) 学識経験者
- (4) 公募により選抜された者
- (5) その他館長が必要と認めた者

### (定数)

第3条 定員は15名以内とする。

### (任期)

第4条 協議会の委員の任期は2年とし、平成31年4月1日から平成33年3月31日までとする。ただし、任期中に委員が交替する場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。なお、委員は再選されることは妨げない。

### (会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長各1名を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 会長は会務を総理する。
- 3 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。

### (会議)

第6条 協議会の会議は会長が招集し、その議長となる。

- 2 協議会の会議は、定数の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長が決するところによる。
- 4 会長は、必要のあるとき、委員以外のものを会議に参加させることができる。ただし、その者は、採決に参加できない。

### (庶務)

第7条 協議会の庶務は、新潟市歴史博物館企画普及課において処理する。

### (その他)

第8条 この要綱で定めるもののほか、会の運営に関して必要な事項は、会長が別に定めるものとする。

### 附則

この要綱は平成16年1月1日から施行する。

この要綱は平成17年7月27日から施行する。

この要綱は平成18年4月1日から施行する。

この要綱は平成20年4月1日から施行する。

この要綱は平成22年4月1日から施行する。

この要綱は平成23年4月1日から施行する。

この要綱は平成25年4月1日から施行する。

この要綱は平成27年4月1日から施行する。

この要綱は平成29年4月1日から施行する。

この要項は平成31年4月1日から施行する。

## 令和2年度事業報告 博物館

## ○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

## 1 文化事業

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

## (1) 展示運営更新

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。また、川村修就コーナーの展示ケースを、4月・5月・7月・11月の4回、展示替えした。

## (2) 企画展示事業

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行った。今年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催した。

## ① 「いっぴんー学芸員おすすめの品ー」展

みなとびあの収蔵品の中から各学芸員がおすすめする「いっぴん」を選び見どころとともに紹介した。

開催期間 令和2年4月11日～6月21日 43日間

観覧者数 1,085人（うち有料観覧者 681人、無料観覧者 404人）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4/21～5/10を臨時休館とし、会期を当初の6/7から6/21までに延長した。

## ② 「潟のくらし」展

新潟市域の潟や周辺の低湿地を活かしつつ営んできた先人の暮らしを振り返るとともに、潟をめぐる歴史・生物・地質など各分野の知見を紹介した。

開催期間 令和2年7月11日～8月23日 38日間

観覧者数 2,792人（うち有料観覧者 2,014人、無料観覧者 778人）

## ③ 第17回むかしのくらし展「新潟の昭和」

令和へと改元され、子どもたちにとっては遠い過去の時代となった昭和を取り上げ、その時代の新潟の人々の暮らしや風俗、町の様子などを紹介した。親・祖父母世代にとっては記憶に残る懐かしい時代であり、展示を媒介として世代を超えた語らいの場となった。

開催期間 令和2年9月12日～11月13日 47日間

観覧者数 10,039人（無料観覧者）

## ④ 「収蔵品展・新収蔵品展」

館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展を毎年開催しているが、今年度は「ことわざ慣用句事典」というテーマで資料を紹介した。また、令和2年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催した。

開催期間 令和2年2月13日～3月28日 36日間

観覧者数 開催中（無料観覧）

## 【資料1】

### (3) 教育普及事業

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報、ライブラリーなどを活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。ただし、感染症拡大防止のため制限・中止したものもある。

#### ① 体験の広場事業

体験の広場ではハンズオン機能を制限し、一般見学者には展示見学を主とする施設運用に変更した。また、施設や資料を活用して実施する小学生や家族連れ・大人等を対象とした各種の体験プログラムについては、6月末から感染防止策を行ったうえで計53回（2月時点）実施した。

#### ② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等を行うほか、職場体験の中学生を受け入れるとともに、地域学習として市内の小学校へ出向いて授業を行った。また、新潟大学と連携して当館学芸員が講師をつとめる寄附講義はリモートで開講した。大学生を対象とする館実習は、通年および夏休み期間集中の2本を実施した。

#### ③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的に、幅広いニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

・博物館講座 全9回、古文書入門講座 全3回

※博物館講座1回および館長講座全4回は、感染症拡大防止のため中止とした。

#### ④ ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、感染拡大防止に配慮しながら活動を支援した。登録者数123人。

### (4) 施設普及事業

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」(3回)、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

#### ① 地域連携事業の実施

例年、博物館近隣の市民団体と共催で企画・開催している「堀とさくらのコンサート」、「夕涼みコンサート」、「みなと・しもまち・川まつり」は、感染症拡大防止のため中止となった。

新潟観光コンベンション協会が主催し、当館を会場に開催された「ニイガタ・クリスマス・マーケット2020」(12/18～25)に全面協力した。夜間に開催され、プロジェクションマッピングやイルミネーション、出店などでにぎわった。

#### ② みなとびあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員に向けて提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会・まちあるき「新潟の近代化をたどる」(10/10)・館長バスツアー「村松・堀家をめぐる旅」(9/30)・館長講演会「孤峰俊明所懐—五十嵐俊明展に寄せて—」(12/19)・学芸員による講座「絵図でみる江戸時代の新潟町」(2/11)を実施した。

## (5) 調査研究事業

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、その成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要 17号』にまとめた。

## (6) 資料整理事業

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

## ① 保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校、板井保育園等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、IPMに則った各種の保存環境管理を行った。

## ② 資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

## (7) 自主事業「歴史発見プロジェクト」

新潟の歴史に親しみ、自らが歴史を発見する喜びを知ってもらうため、歴史を題材とした以下の自主事業を行った。

## ① 企画展

## 「生誕 320 年 五十嵐浚明」展

新潟町に生まれた江戸時代中期の絵師・五十嵐浚明の生誕 320 年を記念し、新潟で大切にされてきた作品をはじめ、各地に残る作品を広く集めて紹介した。

※芸術文化振興基金助成事業

開催期間 令和 2 年 11 月 14 日～令和 2 年 12 月 27 日 32 日間

※前後期展示替え実施

観覧者数 3,252 人 (うち有料観覧者 2,989 人、無料観覧者 1,448 人)

## 「しろね絞り展」

「サークルしろね絞り」との共催で、サークルのメンバーが制作した新潟市無形文化財である白根絞りの作品を展示紹介した。

開催期間 令和 3 年 1 月 16 日～1 月 31 日 14 日間

観覧者数 1,064 人 (無料観覧者)

## ② 中級古文書演習

実際の古文書を読むため、全 20 回の実践向け演習を行った。

## ③ こども歴史クラブ

小学生を対象にクラブ員を募り (会員 10 名)、古代から近現代までの人々の暮らしに関わる体験プログラムを計 8 回実施した。

※4 月～6 月の 3 回を感染症拡大防止のため中止とした。

## 【資料1】

### 2 文化施設管理受託事業

#### 歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。

#### (1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

#### (2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

#### (3) 信濃川左岸緑地管理事業

### 3 付帯事業

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行った。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機設置

■令和2年度歴史博物館入館者数 52,940人(1月末現在) ※昨年同時期 85,193人

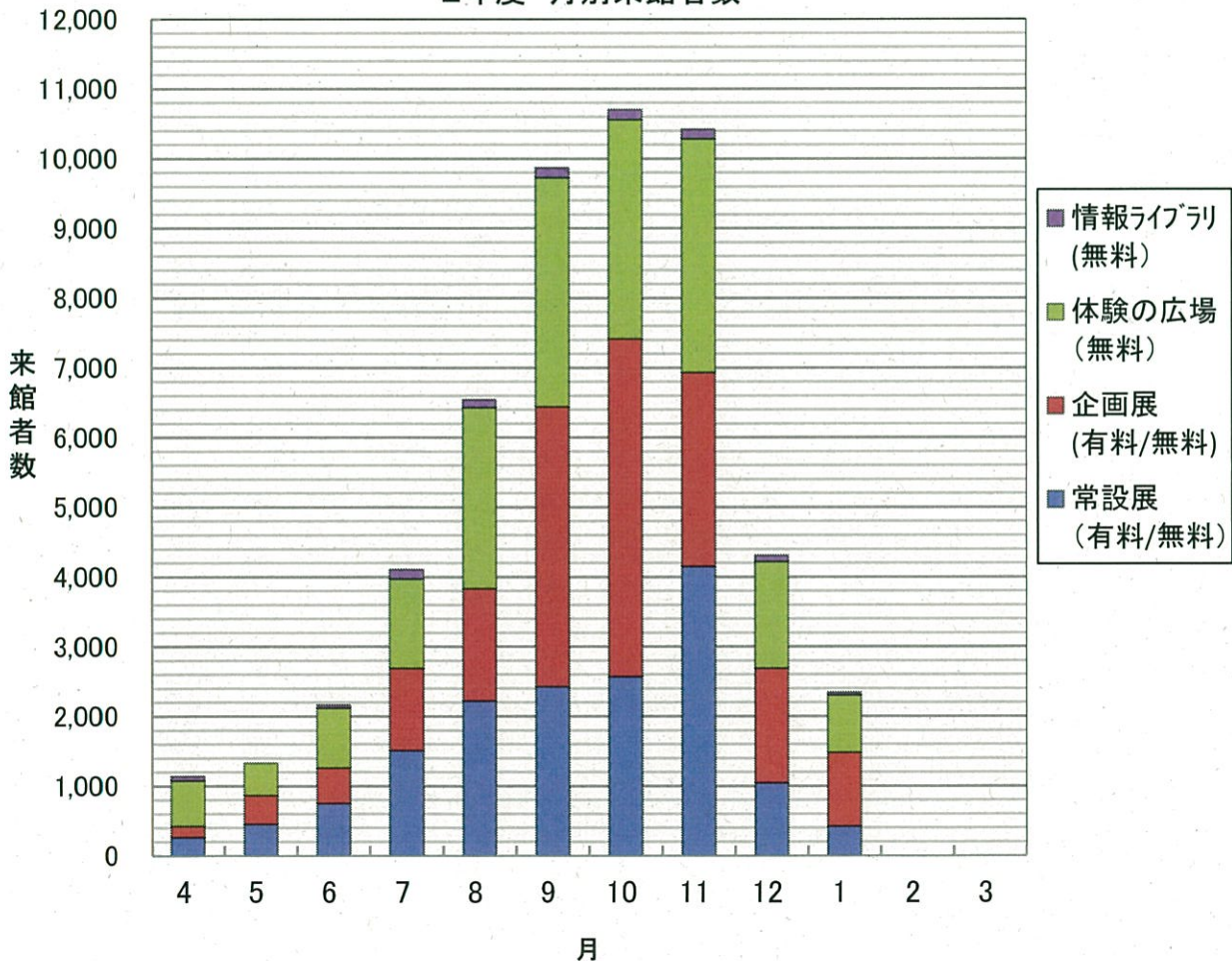
令和2年度 歴史博物館 来館者内訳

○月別来館者数

月	開館日数	常設展 (有料/無料)	企画展 (有料/無料)	体験の広場 (無料)	情報ライブラリ (無料)	R2月別 来館者数計	1日平均 来館者数
4	17	270	161	651	60	1,142	67
5	18	455	414	458	0	1,327	74
6	24	754	510	858	42	2,164	90
7	21	1,512	1,181	1,283	134	4,110	196
8	27	2,227	1,611	2,594	113	6,545	242
9	27	2,431	4,014	3,286	140	9,871	366
10	27	2,575	4,844	3,142	143	10,704	396
11	25	4,154	2,786	3,349	132	10,421	417
12	24	1,048	1,647	1,528	88	4,311	180
1	24	422	1,064	824	35	2,345	98
2						0	#DIV/0!
3						0	#DIV/0!
計	234	15,848	18,232	17,973	887	52,940	

\*貸館による「現代工芸展」は自粛により主催者の判断で中止

2年度 月別来館者数



【資料2】

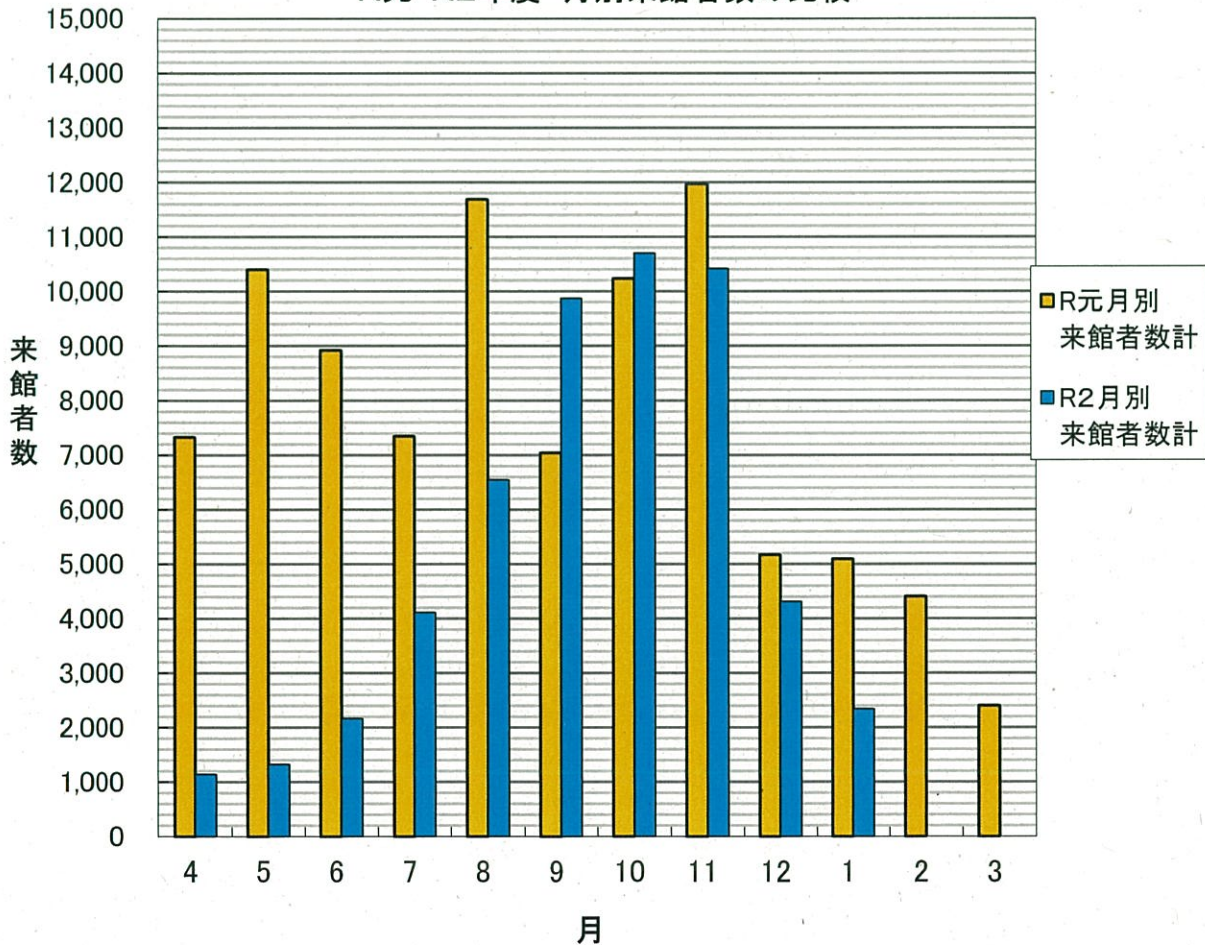
＜参考＞令和元年度 歴史博物館 来館者内訳

○月別来館者数

月	開館日数	常設展 (有料/無料)	企画展 (有料/無料)	体験の広場 (無料)	情報ライブラリ (無料)	R元月別 来館者数計	1日平均 来館者数
4	26	2,438	1,071	3,681	140	7,330	282
5	27	4,090	2,367	3,726	218	10,401	385
6	26	3,369	1,898	3,515	138	8,920	343
7	20	2,735	1,841	2,606	161	7,343	367
8	28	3,912	2,601	4,927	246	11,686	417
9	25	2,428	1,625	2,838	148	7,039	282
10	27	3,128	2,951	3,948	210	10,237	379
11	26	3,695	3,715	4,383	180	11,973	461
12	23	1,640	1,231	2,196	105	5,172	225
1	24	1,545	1,454	1,925	168	5,092	212
2	19	973	1,425	1,877	132	4,407	232
3	25	590	579	1,144	86	2,399	96
計	296	30,543	22,758	36,766	1,932	91,999	

\*上記企画展の来館者には、貸館による「現代工芸展」899人を含む

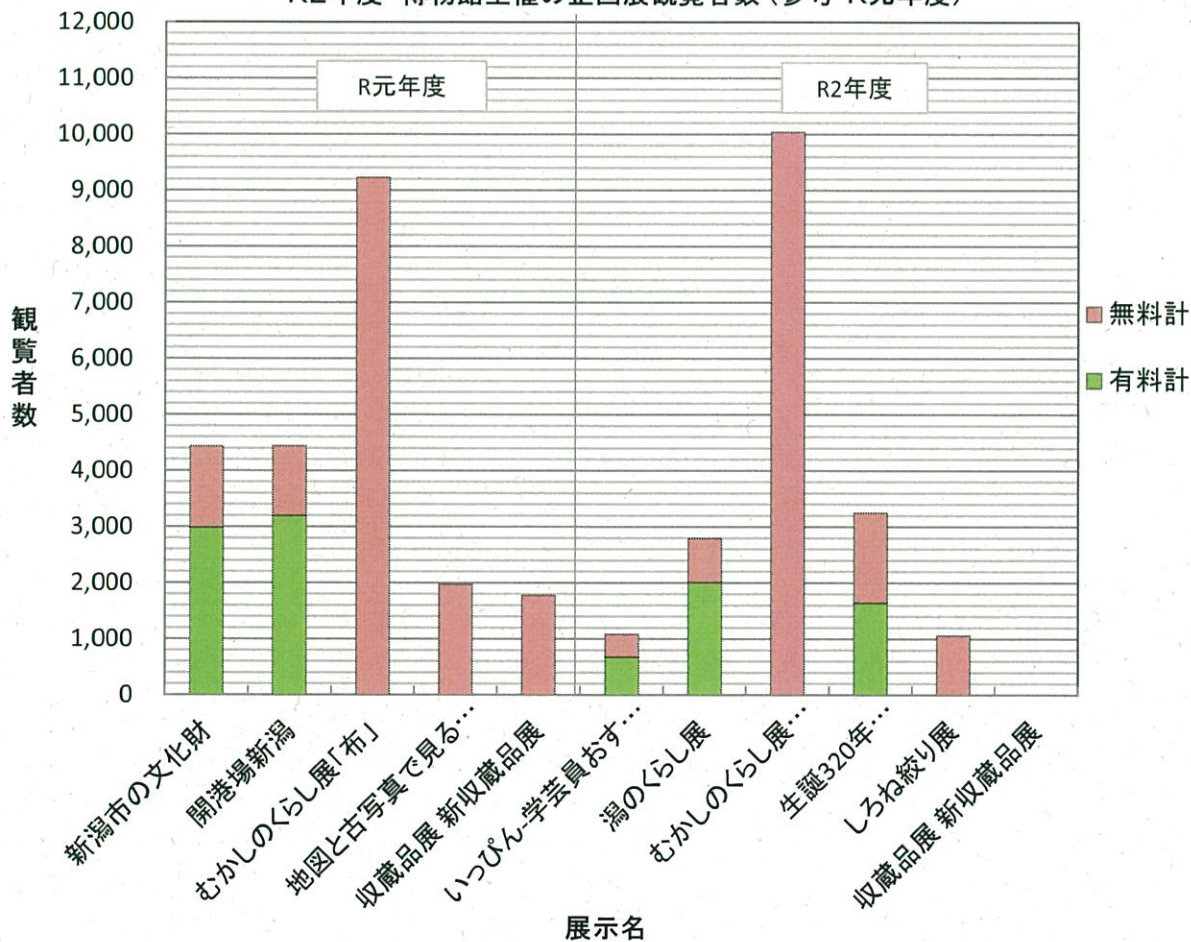
R元・R2年度 月別来館者数の比較



R2年度 博物館主催の企画展観覧者数（参考 R元年度）

	企画展名	会期	開館 日数	合計	有料計	個人	団体	無料計	うち授業	うち小中 土日無料	日平均
R元年度	新潟市の文化財	4.13～6.16	57	4,437	2,989	1,858	1,131	1,448	499	186	78
	開港場新潟	7.13～8.25	39	4,442	3,199	1,920	1,279	1,243	110	495	114
	むかしのくらし展「布」	9.14～12.8	74	9,231	0	0	0	9,231	2,151	0	125
	地図と古写真で見る 「新潟の文明開化」	12.21～2.2	32	1,971	0	0	0	1,971	166	0	62
	収蔵品展 新収蔵品展	2.15～3.22	32	1,778	0	0	0	1,778	0	0	56
R2年度	いっぴん-学芸員おすすめの商品-展 (4.21～5.10休館)	4.11～6.21	43	1,085	681	463	218	404	0	59	25
	潟のくらし展	7.11～8.23	38	2,792	2,014	1,338	676	778	69	214	73
	むかしのくらし展 「新潟の昭和」	9.12～11.3	47	10,039	0	0	0	10,039	1,096	0	214
	生誕320年 五十嵐俊明展	11.14～12.27	32	3,252	1,647	953	694	1,605	696	98	102
	しろね絞り展	1.16～1.31	14	1,064	0	0	0	1,064	0	0	76
	収蔵品展 新収蔵品展	2.13～3.28	36	0	0	0	0	0	0	0	0

R2年度 博物館主催の企画展観覧者数（参考 R元年度）



## 【資料3】

# 令和2年度事業報告 旧小澤家住宅

## ○ 新潟市文化財旧小澤家住宅

### 1 文化事業

指定管理の受託事業者として旧小澤家住宅の設置目的に基づき、常設展示とともに企画展事業や教育普及事業などを積極的に開催し、来館者の増加に努めた。

なお、事業の開催に当たってはボランティアの皆さんからガイドを行っていただいた。

#### 【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

#### (1) 常設展示・企画事業

##### 【常設展示】

旧小澤家住宅の概要と小澤家の来歴、そして「みなとまち新潟」の歴史や生活文化について、グラフィックパネルで紹介した。

11月14日（土）には開館以来の延べ来館者数15万人を達成し、15万人目のお客様にプレゼント（新潟漆器の菓子皿）をお渡しするセレモニーを行った。

##### 【企画事業】

旧小澤家住宅の雰囲気と風合いに合わせた日本の伝統的な工芸品展などを開催した。

#### ① 桜井進一氏写真展「新潟むかし：昭和の記憶・他門川」

桜井進一氏が撮影した他門川の写真を展示紹介し、往事の姿を回顧した。

開催期間 令和2年4月4日（土）～4月19日（日）

令和2年5月12日（火）～5月31日（日）

※5月10日までの予定であったが、4月20日から5月11日まで閉館していたため延長した。

観覧者数 299人（有料観覧者261人、無料観覧者38人）

#### ② ミニ企画展「端午の節句飾り」展

小澤家に伝わる端午の節句飾りを展示した。

開催期間 令和2年4月7日（火）～4月19日（日）

令和2年5月12日（火）～6月3日（水）

※4月25日から5月6日までの予定であったが、閉館等にあわせて日程を調整した。

観覧者数 288人（有料観覧者250人、無料観覧者38人）

## ③「和時計」展

時香盤や和時計を展示し、日本の時計について紹介した。

開催期間 令和2年5月23日(土)～6月14日(日)

観覧者数 314人(有料観覧者263人、無料観覧者51人)

協力：新潟ハイカラ文庫

## ④「着物」展

小澤家で使用された着物や和装品を展示紹介した。

開催期間 令和2年6月20日(土)～7月19日(日)

観覧者数 586人(有料観覧者478人、無料観覧者108人)

協力：大嶋屋

## ⑤「みんなの問題・海のごみ」展

一般社団法人JEAN所蔵の海ゴミ問題啓発に関する写真パネルを展示した。

市内でビーチコーミングをされている方からお借りした、新潟の浜で拾える漂着物の展示も行った。

開催期間 令和2年7月18日(土)～8月2日(日)

観覧者数 399人(有料観覧者340人、無料観覧者59人)

協力：一般社団法人JEAN

## ⑥「うちわ」展

夏にあわせて、当館所蔵のうちわを展示紹介した。

開催期間 令和2年7月25日(土)～8月30日(日)

観覧者数 670人(有料観覧者582人、無料観覧者88人)

## ⑦ 夏の寝間展示

夏にあわせて、寝室だった寝間に蚊帳を吊って演出・展示した。

開催期間 令和2年8月8日(土)～8月23日(日)

観覧者数 308人(有料観覧者268人、無料観覧者40人)

## ⑧「ふろしき」展

むかしの道具の一つとして「ふろしき」を取り上げ展示した。

開催期間 令和2年9月5日(土)～9月27日(日)

観覧者数 703人(有料観覧者633人、無料観覧者70人)

共催：大嶋屋

## ⑨「新潟仏壇工芸・越後生紙」展

当市の伝統的工芸品の一つ「新潟・白根仏壇」から「新潟仏壇」を展示した。また、県内の手漉き和紙職人による組合「越後生紙振興組合」と共催し、県内の各所に伝わる様々な和紙制作技法を紹介した。

開催期間 令和2年10月17日(土)～11月8日(日)

観覧者数 1,386人(有料観覧者861人、無料観覧者525人)

共催：新潟仏壇組合、越後生紙振興組合

### 【資料3】

#### ⑩ ボランティア企画「新潟の新聞」展

当館ボランティアスタッフ有志とともに、資料整理をしながら明治期以降の新潟県内所新聞を展示した。

開催期間 令和2年11月14日(土)～12月13日(日)

観覧者数 1,295人(有料観覧者1,114人、無料観覧者181人)

#### ⑪ 「羽子板」展

新年にあわせて、当館所蔵の羽子板を展示紹介した。

開催期間 令和2年12月19日(土)～令和3年1月17日(日)

観覧者数 199人(有料観覧者166人、無料観覧者33人)

#### ⑫ 「ひな人形とからくり人形」展

当館及び新潟ハイカラ文庫所蔵の古式雛とからくり人形を展示する。

開催期間 令和3年2月20日(土)～3月21日(日)

共催：新潟ハイカラ文庫

### (2) 教育普及事業

旧小澤家住宅を通して新潟の歴史や文化に関する「学び」と「楽しみ」を提案するため、様々な催し物の開催とともに体験学習を実施した。

#### ① 庭園講習会・・・6月27日(土)

夏場の庭木の手入れについて、当館庭師による講習会を実施した。

#### ② ふろしき講座・・・9月5日(土)、6日(日)

「ふろしき」展の関連企画として、ふろしきの活用講座を実施した。

#### ③ 古文書講座初級編・・・10月7日(水)・9日(金)・14日(水)・16日(金)・21日(水) 23日(金)・11月11日(水)・13日(金)・18日(水)・20日(金)

本井晴信氏を講師に迎え、古文書の初心者向け講座を実施した。参加者の要望に応え、補講も2回追加実施した。

#### ④ 新潟仏壇工芸ワークショップ・・・10月24日(土)、25日(日)、11月1日(日)、3日(火)

「新潟仏壇工芸」展・「越後生紙」展の関連企画として、伝統工芸士による蒔絵実演、職人指導によるワークショップ(金具打ち・蒔絵塗)を開催した。

#### ⑤ クリスマスのスワッグ作り・・・12月6日(日)

壁に飾れるクリスマスの飾り作り教室を開いた。

#### ⑥ お正月の苔玉作り・・・12月12日(土)

お正月飾り用の苔玉の製作教室を開いた。

#### ⑦ 稲穂で作る正月飾り・・・12月13日(日)

稲穂などの自然の素材を使った正月飾り作りの教室を開催した。

#### ⑧ 稲わらでつくるひな人形・・・2月21日(日)

「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、稲わらを使ったひな人形作りの教室を開催する。

## ⑨ ボランティアガイド事業

旧小澤家住宅のボランティアガイドとともに新聞資料の整理を行い、ボランティア企画展「新潟の新聞」展を開催した。

※7月に予定していた宿泊体験、9月に予定していた「秋の酒づくし」、2月27日・28日に予定していた「からくり人形の実演」、3月に予定していた「春の酒づくし」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

## (3) 施設普及事業

旧小澤家住宅での様々な楽しみ方を提案するため、時候に合わせた「しつらい」とともに催し物を実施した。

また、事業取組の参考とするため、来館者ニーズのアンケート調査を実施した。

## ① 応接セットの展示・・・5月12日(火)～22日(金)

藤の間に応接セットを展示し、応接間として使われていた往事の姿を再現した。

## ② 山野草の展示・・・5月12日(火)～22日(金)

旧小澤家住宅の風合いを来館者から楽しんでもらうため、通り土間にさまざまな山野草を展示した。

協力・花や木下

## ③ 蛙まつり・・・6月6日(土)～7月19日(日)

6月6日の「かえるの日」と梅雨にあわせて、職員ら有志が持ち寄った蛙をモチーフにした置物、ぬいぐるみ、手拭いや絵本などを展示した。

## ④ 夏至祭ミニ～こころばかり～・・・6月21日(日)

夏の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、夏至の日に合わせて飲食の提供や物販、ゲリラライブを行った。なお、和服での来館者は入館料を無料とした。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定していた2日間から1日限りのミニ版に変更して開催した。

共催・Bar Book Box

## ④ おやつの日(7月)・・・7月23日(木・祝)

町のにぎわいを絶やさないことを目的に、市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。海の日にあわせて、オリジナルグッズが当たるくじ引きも開催した。

新潟漆器の実演販売も行った。

## ⑤ おやつの日(8月)・・・8月29日(土)

市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。

唄と三味線の踊りのゲリラライブも開催した。

## ⑥ おやつの日(9月)・・・9月22日(火・祝)

市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。

唄と三味線と踊りのゲリラライブも開催した。

### 【資料3】

- ⑦ おやつの日 (10月)・・・10月17日(土)  
市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。  
小澤家オリジナルコーヒーの販売も行った。
- ⑧ 秋のミニ文化祭・・・11月23日(月・祝)  
秋の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、文化祭を開催し、飲食の提供や物販を行った。例年行っている夜間開館・ライトアップ・ワークショップ・ライブハウスなどは新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して中止し、「ミニ文化祭」として縮小版で開催した。
- ⑨ おやつの日 (12月)・・・12月6日(日)  
市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。
- ⑩ 花で彩る・・・1月9日(土)～17日(日)  
お正月をテーマに、土間にフラワーアレンジメントを展示した。
- ⑪ フラワーアレンジメントワンディレッション・・・1月10日(日)  
「花で彩る」の関連企画として、フラワーアレンジメントの製作体験を開催した。
- ⑫ おやつの日 (1月)・・・1月16日(土)  
市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。  
唄と三味線と踊りのゲリラライブも開催した。
- ⑬ おやつの日 (2月)・・・2月14日(日)  
市内の飲食店を招いておやつの販売を行う。
- ⑭ 箏の演奏会・・・3月6日(土)  
旧小澤家住宅の春の雰囲気を来館者から楽しんでもらうため、「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として箏の演奏会を開催する。
- ⑮ おやつの日 (3月)・・・3月14日(日)  
市内の飲食店を招いておやつの販売を行う。
- ※5月10日(日)に予定していた「藤見煎茶会」、初夏に予定していた「新潟甚句・佐渡おけさ『新潟の踊り講習会』」、12月20日に予定していた「年忘れ煎茶会」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

#### (4) 調査研究事業

みなとまち新潟に対する市民の理解を深めるため、小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査し、その成果を「小澤家ゆかりの品々」展、「小澤家の人びと」展で紹介した。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に、賛助会員として参加した。

#### (5) 収蔵資料保存管理事業

資料の仮整理・収蔵作業を行った。

## 2 文化施設管理受託事業

指定管理の受託事業者として新潟市文化財旧小澤家住宅の適正な維持管理運営を行い、来館者および利用者へのサービスの向上に努めた。

※ 令和2年度 旧小澤家住宅入館者数・・・令和3年1月末現在

9,472人（対前年度比67.8%）

主に新型コロナウイルス感染拡大の影響により激減した。

### ○ 旧小澤家住宅の付帯事業

旧小澤家住宅では、新潟漆器、ふろしき、書籍などを委託で販売し、季節に合わせてこまめに商品の入れ替えを行っている。

当館はオリジナル商品として、箸置き、つま楊枝、お菓子、手ぬぐい、トートバッグ、Tシャツなどの開発・販売にも力を入れ、令和2年度からはオリジナルマスクの販売を始めた。

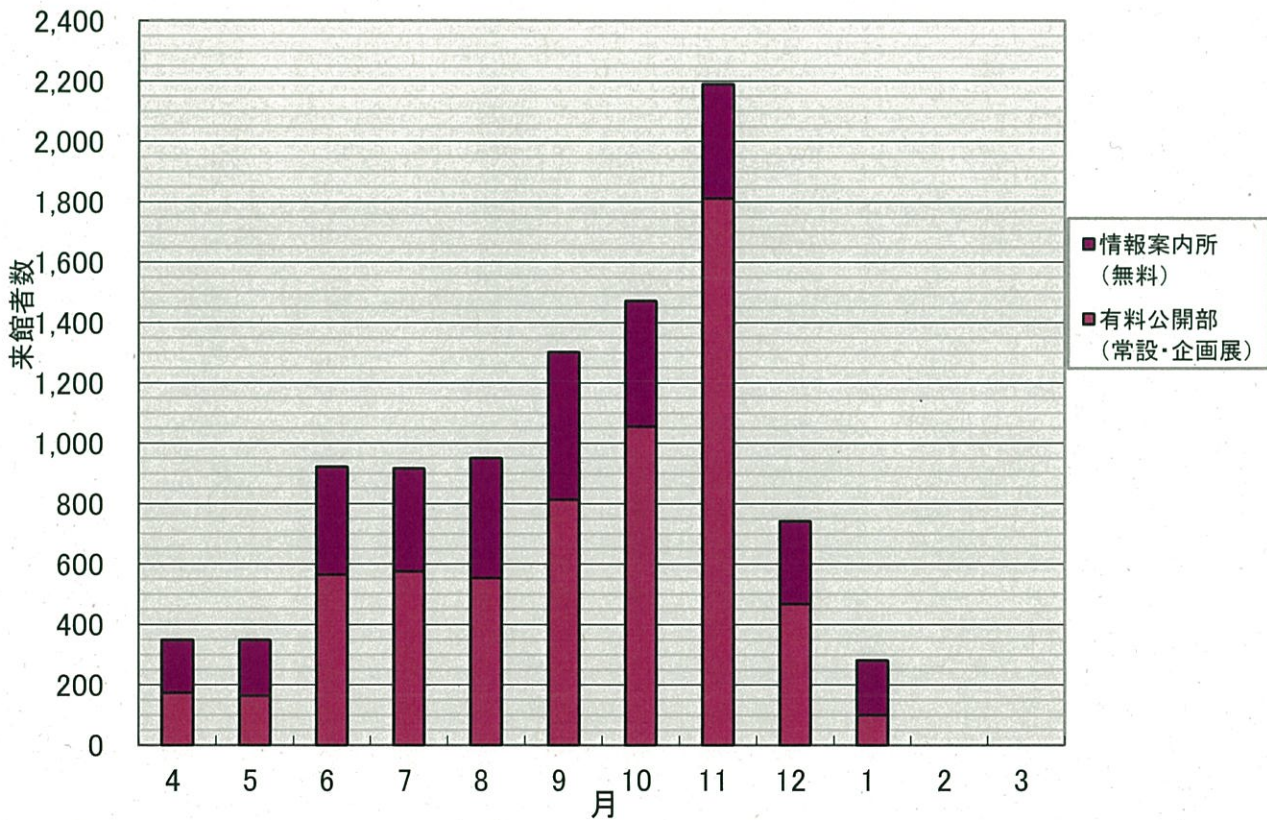
【資料4】

令和2年度 旧小澤家住宅 来館者内訳

○月別来館者数(1月末現在)

月	開館日数	有料公開部 (常設・企画展)	情報案内所 (無料)	R2月別 来館者数計	R2日平均 来館者数	備考
4	17	173	176	349	21	
5	18	164	185	349	19	
6	25	565	357	922	37	
7	26	576	341	917	35	
8	26	553	397	950	37	
9	26	814	488	1,302	50	
10	27	1,056	416	1,472	55	
11	24	1,811	378	2,189	91	
12	24	467	274	741	31	
1	17	100	181	281	17	
2	22			0	0	
3	25			0	0	
計	277	6,279	3,193	9,472	34	

2年度月別来館者数

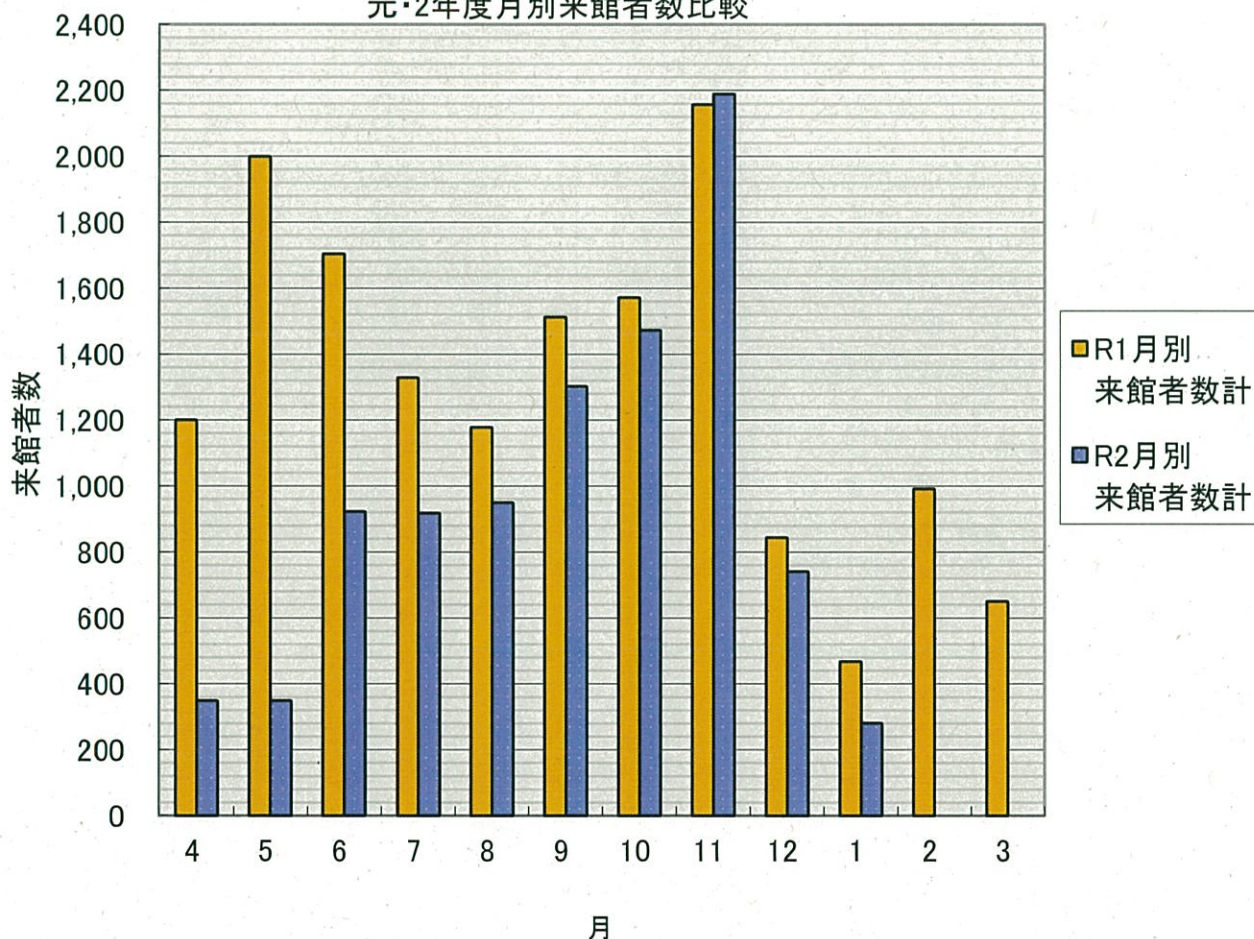


## 令和元年度 旧小澤家住宅 来館者内訳

○月別来館者数

月	開館日数	有料公開部 (常設・企画展)	情報案内所 (無料)	R1月別 来館者数計	R1日平均 来館者数	備考
4	26	880	320	1,200	46	
5	27	1,608	391	1,999	74	
6	26	1,338	366	1,704	66	
7	26	932	397	1,329	51	
8	27	811	367	1,178	44	
9	25	1,153	359	1,512	60	
10	25	1,193	379	1,572	63	
11	25	1,763	394	2,157	86	
12	23	568	276	844	37	
1	16	271	196	467	29	
2	24	704	287	991	41	
3	25	370	280	650	26	
計	295	11,591	4,012	15,603	53	

元・2年度月別来館者数比較

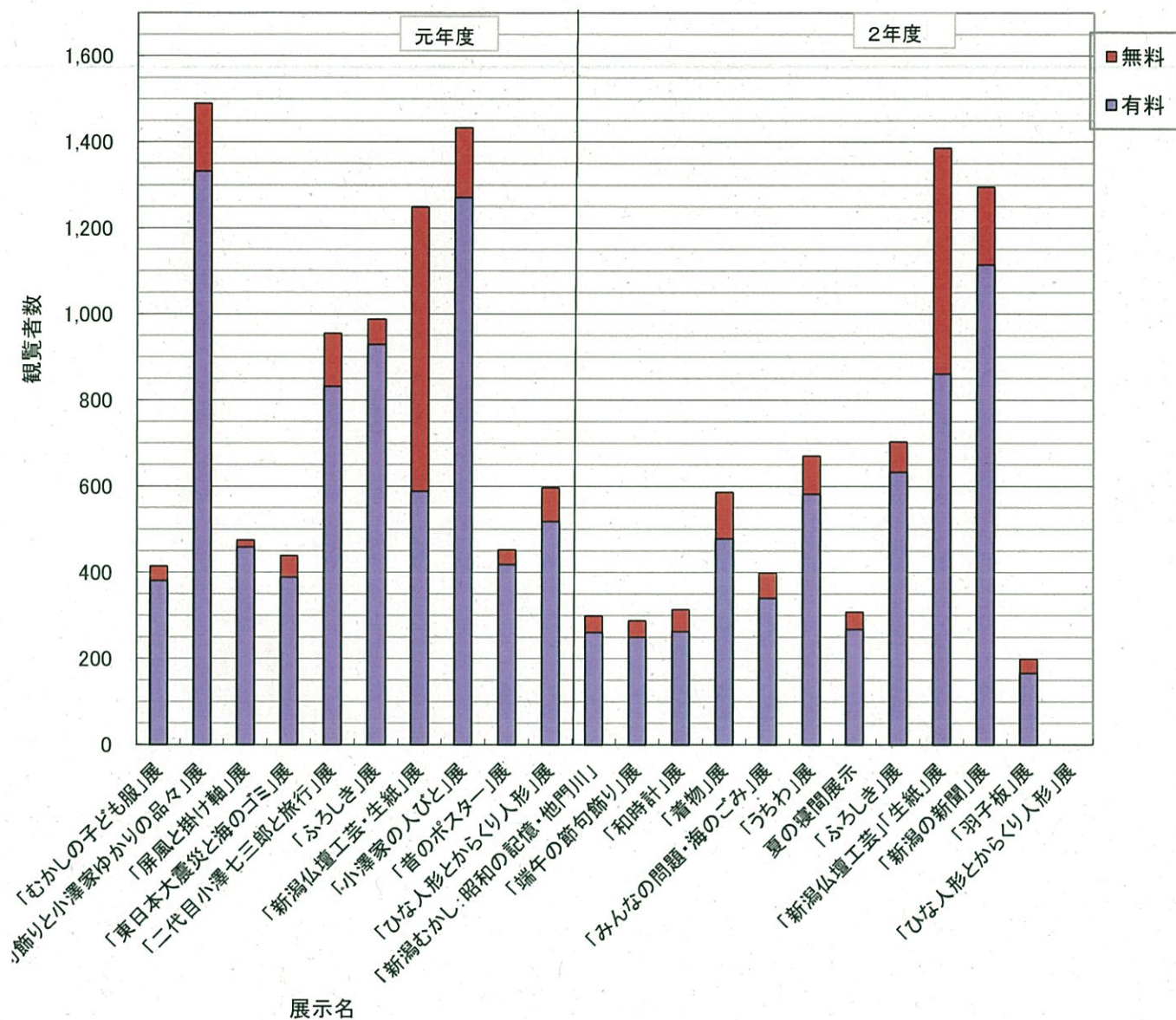


【資料4】

R2年度 旧小澤家住宅 企画展観覧者数(参考元年度)

	企画展名	会期	合計	有料計	個人	団体・ セット券	無料計	うち授業	うち小中 土日無料	開館 日数	日平均
元 年 度	「むかしの子ども服」展	H31.4.6～4.21(14日間)	414	381	181	200	33		2	14	30
	「端午の節句飾りと小澤家ゆかりの品々」展	H31.4.27～5.19(21日間)	1,490	1,332	417	915	158	10	19	21	71
	「屏風と掛け軸」展	R1.6.1～6.16(14日間)	475	459	161	298	16		1	14	34
	「東日本大震災と海のゴミ」展	R1.7.6～7.15(9日間)	439	389	153	236	50		12	9	49
	「二代目小澤七三郎と旅行」展	R1.7.27～9.1(32日間)	955	832	241	591	123		47	32	30
	「ふろしき」展	R1.9.7～9.29(20日間)	988	929	310	619	59		12	20	49
	「新潟仏壇工芸・生紙」展	R1.10.22～11.10(17日間)	1,249	588	224	364	661		46	17	73
	「小澤家の人びと」展	R1.11.23～R2.2.2(47日間)	1,433	1,271	580	691	162		25	47	30
	「昔のポスター」展	R1.12.21～R2.1.22(22日間)	452	418	112	306	34		8	22	21
	「ひな人形とからくり人形」展	R2.2.22～3.22(26日間)	596	518	266	252	78	12	10	26	23
2 年 度	「新潟むかし:昭和の記憶・他門川」	R2.4.4～4.19/R2.5.12～5.31(32日)	299	261	150	111	38		1	32	9
	「端午の節句飾り」展	R2.4.7～4.19/R2.5.12～6.3(32日間)	288	250	140	110	38		1	32	9
	「和時計」展	R2.5.23～6.14(20日間)	314	263	132	131	51		1	20	16
	「着物」展	R2.6.20～7.19(26日間)	586	478	246	232	108	9	11	26	23
	「みんなの問題:海のごみ」展	R2.7.18～8.2(13日間)	399	340	165	175	59		10	13	31
	「うちわ」展	R2.7.25～8.30(31日間)	670	582	289	293	88		13	31	22
	夏の寝間展示	R2.8.8～8.23(14日間)	308	268	118	150	40		4	14	22
	「ふろしき」展	R2.9.5～9.27(20日間)	703	633	274	359	70		19	20	35
	「新潟仏壇工芸」「生紙」展	R2.10.17～11.8(19日間)	1,386	861	342	519	525		12	19	73
	「新潟の新聞」展	R2.11.14～12.13(26日間)	1,295	1,114	541	573	181	35	31	26	50
	「羽子板」展	R2.12.19～R3.1.17(20日間)	199	166	89	77	33			20	10
	「ひな人形とからくり人形」展	R2.2.20～3.21(25日間)	0	0						25	0

令和2年度 旧小澤家住宅の企画展観覧者数（参考元年度）



## 【資料5】

# 令和3年度事業計画 博物館

## ○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

### 1 文化事業

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。

#### (1) 展示運営更新

常設展示室の部分展示替え等により情報内容を更新する。

#### (2) 企画展示事業

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行う。次年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催する。

##### ① 「みなとまち新潟の記憶—新潟町会所文書の世界—」展

開催期間 令和3年4月10日～5月30日 44日間

これまで「みなとまち新潟」の歴史を語る上で欠かせない資料としてたびたび活用されてきた「新潟町会所文書」を通して「みなとまち新潟」を見つめ直す。

##### ② 第18回むかしのくらし展「マチとムラの年中行事」

開催期間 令和3年9月11日～11月14日 57日間

正月、節分、雛祭り、お盆など日本の年中行事の意味を考えるとともに、かつての年中行事を通してマチとムラの1年間の生活を紹介する。

##### ③ 収蔵品展・新収蔵品展

開催期間 令和3年11月27日～令和4年1月30日 49日間

館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展と、令和3年度に新たに受け入れる資料を紹介する新収蔵品展を開催する。

##### ④ 「幕末新潟の絵師」展

開催期間 令和4年2月11日～令和4年3月27日 37日間

湊町新潟を象徴する作品である、行田魁庵の市指定文化財「新潟入船之図」や、井上文昌の県指定文化財「大船絵馬」など、幕末期に活躍した新潟の絵師たちについて紹介する。

##### ⑤ その他

次年度に開催予定の企画展の準備を行う。(印刷物の作成等)

※このほか、自主事業による企画展を開催する。

#### (3) 教育普及事業

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりするとともに、レファレンス用開架図書を追加する。

## 【資料5】

### ① 体験の広場事業

小学生や家族連れを主な対象として、「つかう」、「しらべる」、「つくる」という機能を持つ、3つの広場「昔のくらしに触れる場」、「情報学習の場」、「創作活動の場」での体験プログラムを、土・日・祝日を中心に年50回程度開催する。

また、夏休み向けの体験や大人を対象とした体験プログラムなど、対象を設定した体験プログラムも織り交ぜて行く。

### ② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講義や大学生の実習受入れを行う。学校のニーズに応じて出前授業にも対応する。

### ③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する以下の各種講座を開催する。

- ・ 博物館講座                      年 10 回（4 月、3 月を除く各月の第 3 日曜日）
- ・ 館長講座                        全 4 回（3/6・13・20・27）
- ・ 古文書入門講座                全 4 回（開催日調整中）

### ④ ボランティア事業

常設展示解説、敷地解説、体験の広場プログラムでのボランティア活動を支援するとともに、館の顔としてスキルアップを図る。またボランティア活動への新規希望者に向けた研修を行う。

※このほか、自主事業による教育普及事業を実施する。

## (4) 施設普及事業

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図る。

### ① 地域連携

地元市民団体と共催し、博物館を会場に野外コンサートや夏祭りなどのイベントを開催する。

### ② みなとびあファンクラブ

「みなとびあファンクラブ」会員を対象とした事業を行う。講演会や企画展鑑賞会、史跡探訪ツアーや新潟市内の街歩きなどを開催する。

## (5) 調査研究事業

市民の関心を呼び起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、調査研究活動を行う。当館の基本テーマである「湊と湊町」「低湿地のくらし」に合わせた調査・研究を基本とし、そのほか学芸員が各自のテーマで調査・研究を実施する。そうした成果を博物館講座等で市民に報告するとともに、研究紀要として刊行する。

## 【資料5】

### (6) 資料整理事業

寄贈や購入などにより受け入れた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行う。

#### ① 保存環境管理

歴史資料を長期保存するための資料保全・環境整備。

新規収集資料の燻蒸・殺虫処置や、博物館収蔵庫・石庫・新潟市文化財センター・旧木場小学校等に所蔵する資料を、よりよい状況で保存するための IPM をはじめとする資料保存環境の管理に努める。

#### ② 資料収集整理

地域の歴史資料を収集するとともに、資料を保存管理するための基礎的データや資料活用するための資料情報を調査・記録し、データベース化する整理作業を行う。併せて、資料の保存のためのクリーニング・養生などの処置を行う。

### (7) 自主事業「みなとぴあ歴史発見プロジェクト」

令和3年度から再スタートする自主事業で、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、新潟の街をみんなで盛り上げていこうというもの。事業実施に当たり、地域の企業・団体から協賛金をいただくなど自主財源を確保し、以下の事業を行う。

#### ① 企画展

「川・街・港 変わりゆく風景」展

開催期間 令和3年7月17日～8月29日 38日間

新潟の街を数多く撮影してきたアマチュアカメラマン桜井進一の作品を展示する。日常風景を始め、新潟地震の被害状況、再開発により変化する新潟港、信濃川を軸に大きく変わる街の様子を紹介する。

※みなとの博物館ネットワークフォーラム助成事業

#### ② 中級古文書演習

「字のくずしだけでなく、実際の古文書を読みたい」「もう少し難しい古文書を解読したい」そんな方にお勧めの宿題あり、予習・復習必須のゼミ形式で古文書を学ぶ。

全20回の講座。4～3月の間、第2、第4水曜日の午前・午後に開講。定員30人。

#### ③ みなとぴあこども歴史クラブ

小学生を対象に、古代から現代までの人々の暮らしと生活の一端をプログラム化して、体験してもらうことで、歴史を身近に感じ、かつての暮らしや文化財保護を考えるきっかけづくりを行う。

毎月第3日曜日に実施 全11回 20人程度募集

#### ④ 大人の体験プログラム

大人が楽しめる歴史・文化にかかわる体験イベントを企画・実施する。

#### ⑤ 特別講演会

新潟市の文化財や文化的風土をテーマとする講演会を企画・開催する。

## 2 文化施設管理受託事業

### 歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等に加え、信濃川左岸緑地の管理運営を行う。

#### (1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

#### (2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

#### (3) 信濃川左岸緑地管理事業

## 3 付帯事業

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行う。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機設置

## 【資料6】

### 令和3年度事業計画 旧小澤家住宅

#### ○ 新潟市文化財旧小澤家住宅

##### 1 文化事業

指定管理の受託事業者として、小澤家住宅の設置目的に基づき以下の各種事業を行う。

###### 【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

##### (1) 常設展示・企画事業

###### 【常設展示】

みなとまち新潟の歴史・生活文化並びに旧小澤家住宅や小澤家の概要について、グラフィックパネル等で紹介する。

###### 【企画展示】

###### ① 桜井進一氏写真展「新潟むかし：西堀」展

開催期間 令和3年4月10日（土）～7月11日（日）

桜井進一氏が撮影した西堀の写真を展示紹介し、往事の姿を回顧する。

###### ② 「みんなの問題・海のごみ」展

開催期間 令和3年7月17日（土）～8月1日（日）

一般社団法人J E A N所蔵の海ゴミ問題啓発に関する写真パネルを展示する。

協力：一般社団法人J E A N

###### ③ 開館10周年記念「小澤家と北前船」展

開催期間 令和3年7月22日（木）～8月29日（日）

小澤家の北前船経営資料や新潟の北前船に関連する資料を展示紹介する。

共催：新潟ハイカラ文庫

###### ④ 「着物—新潟花街の華の衣装—」展

開催期間 令和3年9月11日（土）～10月3日（日）

昭和期の新潟の花街の芸妓が袖を通した華やかな着物を展示紹介する。

協力：着物洛松

###### ⑤ 「新潟仏壇工芸」展

開催期間 令和3年10月16日（土）～11月7日（日）

当市の伝統的工芸品の一つ「新潟・白根仏壇」から「新潟仏壇」を展示する。これにあたり仏壇製作の技法を用いた仏壇以外の製作物の展示と職人の紹介も行う。

共催：新潟仏壇組合

## ⑥開館10周年記念「小澤家の婚礼料理」展I

開催期間 令和3年11月13日(土)～1月16日(日)

明治・大正期の小澤家の婚礼料理の献立資料をもとに、旧家の婚礼料理の再現並びに紹介する。

## ⑦「ひな人形とからくり人形」展

開催期間 令和4年2月19日(土)～3月21日(月)

上巳にあわせ、当館及び近隣に伝わったとされる雛人形を展示する。また、日本の伝統的な人形文化の一端を紹介する目的で新潟ハイカラ文庫所蔵の古式雛も展示する。

共催：新潟ハイカラ文庫

## (2) 教育普及事業

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりする。

## ① 体験学習事業

・企画展の内容に即した体験学習

仏壇工芸体験（「新潟仏壇工芸」展中）

からくり人形実演（「ひな人形とからくり人形」展中）

稲わらでつくるひな人形（「ひな人形とからくり人形」展中）

・ふろしき講座

・新潟甚句、佐渡おけさ講習会

・クリスマスのフラワーアレンジメント

・稲穂でつくる正月飾り

・フラワーアレンジメントワンディレッシン

## ② 宿泊体験事業

・新潟市内の小学4年生を招いて、宿泊体験を行う。

## ③ 講座・講習・講演会事業

・古文書講座

・庭園講座 全2回（春1回、秋1回）

## (3) 施設普及事業

旧小澤家住宅の活動を広く市民に知ってもらうため、広報用の印刷物を作成したり、SNSによる情報発信をしたり、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行ったりする。

また、季節に合わせたしつらいや、イベントの開催などにより、来館の動機付けを行う。

## ① 芸術文化活動の開催

・市民企画フラワーアレンジメント 花で彩る 令和4年3月中

## ② 季節に合わせたしつらい

・山野草の展示

## ③ 季節に合わせたイベントの開催

・藤見煎茶会、年忘れ煎茶会

## 【資料6】

- ・夏至祭 令和3年6月20日（日）
- ・秋の大文化祭 令和3年11月23日（火）

### ④ 食をテーマにしたイベントの開催

#### (4) 調査研究事業

市民が注目し、深く関心のあるテーマの探求や本施設における活動の発展のために、調査研究活動を行う。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に賛助会員として参加する。

#### (5) 収蔵資料の保存管理事業

旧小澤家より寄贈を受けた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用する。新規受け入れ資料の保存と目録の作成。

#### (6) その他事業

地元団体、関連施設と連携した催事を開催する。

## 2 文化施設管理受託事業

### 旧小澤家住宅管理事業

新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービスの向上に努め、旧小澤家住宅（情報案内所・藤ノ間・百合ノ間・道具蔵・離れ座敷等）の管理運営を行う。

### ○付帯・施設貸与事業

来館者に対するサービスの充実を目的に、旧小澤家住宅でしか手に入らないオリジナル商品をはじめ、和の文化、みなとまちや歴史に関するグッズ等を扱ったショップの運営を行う。

# 令和3年度 歴史博物館開館カレンダー

2021年4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2022年 1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

※    は休館日 (6月7日～6月14日は薬剤燻蒸、1月31日～2月7日は施設整備のため休館)  
開館日数 293日

◆ **常設展** (開館日には常に観覧できます)

水運や農業、水害など、さまざまに「水」と深く関わりながら生きてきた新潟の人々の歴史を、ジオラマや映像、実物資料を使ってわかりやすく紹介しています。  
また、ミュージアムシアターでは、当館のオリジナル作品4本を午前10時から30分毎に内容を替えながら上映しています。

◆ **企画展** (タイトルは仮)

○ 「みなとまち新潟の記憶 —新潟町会所文書の世界—」展

「新潟町会所文書」は、信濃川河口西側一帯にあった新潟町に関わる江戸・明治初期を中心とした文書・絵図に、近代以降さらに一部の文書が混入した史料群です。これまで「みなとまち新潟」の歴史を語る上で欠かせない史料としてたびたび活用されてきました。本展ではこの「新潟町会所文書」を通して「みなとまち新潟」を見つめ直します。

4/10



5/30

○ 「川・街・港 変わりゆく風景」展

新潟の街を数多く撮影してきたアマチュアカメラマン桜井進一 の作品を展示します。写真を志した青年桜井進一が最初に向き合った大イベントである新潟県産業観光大博覧会を皮切りに、信濃川でのヤツメ漁、信濃川沿いを走るSL、信濃川右岸の砂利採り場など昭和30～40年代に見られた日常風景を始め、新潟地震での被害状況や再開発で変化する新潟港の姿、信濃川右岸の万代シティの変化を取り上げ、信濃川を軸に大きく変わる街の様子を紹介します。

7/17



8/29

○ 第18回 むかしのくらし展「マチとムラの年中行事」

正月、節分、雛祭り、お盆など日本の年中行事の多くは、農耕や漁業といった人々の生業の順調な進行や豊作を祈ることを起源とし、地域により様々なかたちで行われています。近年では形骸化が進み、行事の意味を考える機会が少なくなりました。そこで本展では、年中行事を通してマチとムラの1年間の生活を紹介します。

9/11



11/14

★ **収蔵品展・新収蔵品展**

資料の収集・保存は博物館の重要な事業です。収蔵品展では、館の収蔵資料の中から選び出した資料を紹介します。新収蔵品展では、当該年度に新たに収集した資料を紹介します。

11/27



1/30

○ 「幕末新潟の絵師」展

幕末期に活躍した新潟の絵師は多くありません。市指定文化財「新潟入船之図」を描いた行田魁庵や、県指定文化財「大船絵馬」を描いた井上文昌など、湊町新潟を象徴する作品は今も知られています。本展ではこの2人の絵師を中心に幕末期に活躍した新潟の絵師たちを紹介します。

2/11



3/27

## 講座等催事カレンダー

### ● 体験プログラム(土・日や祝日を中心に50回程度開催)

伝統的な季節の行事体験, 砂絵描き, 火起こし, ワラ紙づくりなどの子ども向け親子向けの楽しいプログラムを開催します。また, 夏休みの子どもを対象にした体験や大人を対象にした体験イベントなども行います。

### ● 博物館講座(4, 3月を除く各月の第4日曜日に開催)

当館の学芸員が, 日頃疑問に思っ調べてことや研究を進めている内容について報告し, 参加者とともに考えていく講座です。

5/23, 6/27, 7/25, 8/22, 9/26, 10/24, 11/28, 12/26, 1/23, 2/27

### ● みなとぴあバスツアー (※予定) 「みなとぴあファンクラブ」会員限定

当館館長とともに県内の史跡や文化財を訪ねます。

### ● 館長講座(3/6・13・20・27の全4回開催 ※開催日は予定)

当館館長自らが時流に合ったテーマを設定し, 企画・開催する全4回の講座です。

### ● みなとぴあ歴史発見プロジェクト

新潟の歴史に親しみ, 歴史発見の喜びを知るプロジェクトで, 企業や団体, 個人の方々から協賛・寄付金をいただいて, 企画展や講座, 体験プログラムなどを実施しています。詳しくは館からの案内やホームページ等をご覧ください。

○ 出張講座や講演会等も希望に応じ実施します。お気軽にご相談ください。

### ○ そのほか, 当館で開催予定の展覧会など

☆「第58回現代工芸新潟会展」 6/26～7/4  
(主催:現代工芸新潟会)

※催事の名称, 時期とも年度当初の予定です。  
最新情報をポスターやチラシ, ホームページ, 電話等でご確認ください。

令和3年度 旧小澤家住宅開館カレンダー

2021年4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2022年 1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

※ ■ は休館日（1月17日～1月25日は施設整備のため休館）  
開館日数 293日

## 【企画展のご案内】

○桜井進一氏写真展「新潟むかし：昭和の記憶・西堀」 4月10日(土)～7月11日(日)

桜井氏が撮影した西堀の写真を展示紹介し、往事の姿を回顧します。

○「みんなの問題・海のごみ」展 7月17日(土)～8月1日(日)

小澤家の商売とも深いつながりがある「海」について、海洋ゴミの問題を考えるパネルを展示します。

○開館10周年記念「小澤家と北前船」展 7月22日(木)～8月29日(日)

小澤家の北前船経営や北前船に関連する新潟の資料を展示します。

○着物展「新潟花街の華の衣装」 9月11日(土)～10月3日(日)

昭和期の新潟の花街で使われた着物を展示します。

○「新潟仏壇工芸」展 10月16日(土)～11月7日(日)

新潟市の伝統工芸品である新潟仏壇について紹介します。共催・新潟仏壇組合

○開館10周年記念「小澤家の婚礼料理」展 11月13日(土)～1月16日(日)

小澤家で振る舞われた明治期の婚礼料理に関連する資料を展示します。

○「ひな人形とからくり人形」展 2月19日(土)～3月21日(月)

江戸時代以降のひな人形とともにからくり人形を展示します。共催・新潟ハイカラ文庫  
タイトル・期間は変更となる場合があります。

## 【講座等のご案内】

●「夏至祭」 6月20日(日)

●「庭園講習会」 初夏、秋

●新潟甚句・佐渡おけさ「新潟の踊り講習会」 7月下旬

●「新潟仏壇工芸」展 製作体験 企画展期間中

●文化の日 無料公開 11月3日(水)

●「旧小澤家住宅 秋の大文化祭」 11月23日(火)

●フラワーアレンジメント体験「クリスマスの飾り」「お正月の飾り」12月中

●「稲穂でつくる正月飾り」 12月上旬

●「稲わらでつくるひな人形」 2月中

●フラワーアレンジメント展示「花で彩る」 3月中

ほか